

くらしの相談センターだより

所長 宮原春夫 2019年1月 第184号

発行：くらしの相談センター
 〒210-0005 川崎市川崎区東田町10-36 電話&FAX 246-6823
 E-Mail h-miyahara@siren.ocn.ne.jp (HP) http://kurasino-soudan.jimdo.com/



手芸(猪)



木村貞江さんの作品 中島
 端切れを使った手芸(今年の干支 猪)

シリーズ ご存知ですか

医療費控除の「セルフメディケーション」税制について

セルフメディケーション税制とは医療費控除の一種で健康維持に努める事(健康診断や予防接種など)を条件に一般医薬品(OTC医薬品・俗に言う市販薬)の購入で医療費控除が受けられる制度です。

通常の医療費控除(医療費+保険金等補てん額)ー(10万円か、総所得の5%か、のいずれか少ない金額)を課税所得から控除する事ができ、源泉徴収された税金の還付を受けることが出来る制度です。

これに対し、新たに創設されたセルフメディケーション税制は市販薬の購入額が年間で1万2千円を超えた金額(上限8万8千円)を課税所得から控除することが出来ます。

例えば、年間2万円の市販薬

を購入した場合1万2千円を引いた8千円を課税所得から控除することが出来ます。通常の医療費控除とセルフメディケーション税制は併用が出来ません。選択が必要で、例えば、極端ですが市販薬を年間15万円購入する人は医療費控除かセルフメディケーション税制を選択することにより控除額に差が出来ます。この場合、通常の医療費控除では10万円を超えた5万円が課税所得から控除されます。

これがセルフメディケーション税制を利用すると1万2千円を超えた金額は13万8千円です。上限の8万8千円が課税所得から控除される事になります。

それではセルフメディケーション税制を利用するに当たり必要な点のみをみましょう。まず必要なのは明細書です。書式はイ

ンターネットダウンロードするか税務署にて入手出来ます。この明細書には住所・氏名・健康への取り組み内容とそれを証明する書類の発行先(予防接種の領収書発行先)・薬局名・薬の名称・金額を記入します。その他添付書類として検診などの証明書類が必要で、この際、薬局毎に金額を合計し記載することが可能です。領収書、レシートの添付は不要ですが確認のため5年分の保存が義務づけられています。

セルフメディケーション(自主服薬) 税制
 元々医師の処方が必要で買えなかった医療用医薬品を薬局で購入できるように転用した。例えばロキソプロフェンを含む痛み止めや、インドメタシンを含んだ湿布薬などです。対象医薬品である場合は、レシートに★印などが印字され、控除の対象であると記載されています。

新年あけましておめでとうございます

お陰様でくらしの相談センターは開設15周年となり、この町になくはならない現代の駆け込み寺として、多くの皆様に頼りにされてご利用いただきうれし悲鳴を上げております。全ての生活の苦しみ・悩みは国・県・市の悪政が最大の原因です。今年4月、7月と選挙が続く政治革新の絶好のチャンスの年です。スタッフ一同さらなるレベルアップを目指して研鑽に励みお役に立てる相談センターにと頑張りますので今年もどうぞよろしくお願い致します。くらしの相談センター運営委員会一同 所長 宮原春夫

相談事例(その160)

自己責任の分断を 周りの連携で青年を救う

新年あけましておめでとうございます

3年前桜の咲くころに、地方から川崎に働きに出てきたK君はもともと病弱な身体でしたが、両親から自立したいと願い、親の反対を振り切って川崎で働くことにしたのでした。

しかし、病弱な体と仕事に馴染めずに職場を転々とし、今年の春に住まいを探すのに相談に来られたのでした。川崎区内で、一人住まいにふさわしい部屋が見つかりましたが、病弱のため仕事を休みがちで家賃の滞納があり何度も催促

をしたのですが、家に引きこもりがちになりました。訪問しても家にはいない様子です。健康も心配になり、何度も家に訪問しますが、次第に会うのも拒否するようになりました。夜に行っても部屋は真っ暗で、人の気配を感じません。

万が一を考え、警察官立会いのもとに部屋の鍵を開けて中に入ったところ、本人はひどく衰弱して横たわっていて反応も弱く、虫の息の状態でした、すぐに救急車を呼び病院に搬送しました。K君は対応が悪ければ一命を落とすところ危うく助かりました。

2週間ほどで退院しましたが、働ける状態ではなく、私たちが生活保護の申請をして無事安心して暮らせるようになりました。周りの人が温かく接して、K君は少しずつ快方に向かっています。

このように地域とくらしの相談センターが必ず皆様のお役に立つと思います。お気軽にいつでもご相談に来てください。



くらしの相談センター

新春パーティー

出演者
 ザ・んべーす(歌と演奏)
 かぶれ遊人会(踊り)
 原田 直真紗(民謡)
 高橋 先生(三味線)

日時 2019年1月20日
 午後13時45分開場
 場所 東海道かわさき宿
 交流館4F



新春パーティーの
 おしらせ
 日時 1月20日(日)
 午後2時00分開宴
 場所 東海道かわさき宿交流館
 参加費 1500円
 福引抽選 乞うご期待

迷ったとき、困ったとき、くらしの相談センターへ（無料です）

12月の相談内容と件数

(11月21日～12月20日に受けたもの)

相談内容	件数	
	当月	1-12月合計
住宅問題	10	66
生活保護	2	20
身障者問題	1	3
就職・仕事	2	9
医療・病院	1	26
市への要求	0	8
多重債務	0	2
架空請求	1	3
税金・年金	0	8
交通事故	0	0
子供問題	0	2
離婚問題	1	11
弁護士等の相談	0	18
不動産問題	2	18
後見・相続	6	43
その他	4	112
合計	30	349
開設からの総合計 (2003年9月)	6914	

嬉しい便りがFAXで届きましたので報告します。
いつもの人道的な活動に心から感謝申し上げます。
特に感銘したのは11月号の福島体験記でした。「柿の木の実にカラスも雀もいなかった」殺伐とした風景が浮かびショックでした。また「東京オリンピックに向けて放射能のモニタリングポストを外し常磐線を開通させる」など福島の現況がよく伝わってきました。謝謝 (11.09 K・S)

1月の予定
★**無料法律相談日**
1月22日(火)
午後6時30分～
予約が必要です。時間が限られていますので要件はまとめて。
★土・日・祝日は休み
☆相談時間は
9時30分～17時30分

「えひめAI-1」
あいち
洗濯槽の掃除、ペット糞、尿消臭
防止。排水口、トイレの消臭に抜
群の効果。その他用途いろいろ。
500ml NOOBY

くらしの相談センター
境町相談所
(月～金)午後1時より
受け付けています
バザー 1月12日(土)
10時～13時
ご協力お願いします
電話 23315812

市民の暮らしに
福祉を第一に。

日本共産党市議団は、12月15日に市議選政策(第一次)を発表、「1700億円の大型開発、1千億円のためこみ金を活用し、子育ても老後も安心の川崎市を」と打ち出しました。「船の来ない港」と必要のない2本の橋など大型開発に1700億円のム

ダブかいをすすめ、豊かな財政収入があるのに減債基金に2200億円ため込んでいます。横浜市の場合は900億円程度で約1年しか貯めておらず、川崎市のため込みは明らかに過剰です。こうした財源を生かし、中学生までの医療費助成(約17億円)や、国保料世帯あたり年1万円の減額(約19億円)、介護保険料の据え置き(約12億円)

「検討」発言など、川崎区は激動のさなかにあります。この中で市民の暮らしを守る片柳すすむと後藤まさみさんへと、みなさんのご支援をお願いいたします。

日本共産党市会議員
相談センター所長代理
片柳すすむ

「くらしの相談センター」の当番で感じたこと
半年間の、センタ―での当番は大変貴重な体験でした。週一回、午前中という短いものなのにそんな相談者が多いという事ではありませんでしたが切羽詰まって飛び込んでくる人にお会いすることもあり、本来なら自治体なり行政が対応すべきことを代行して市民に向き合っているのが相談センタ―だと感じました。
このことは、他団体との関係でも言えるようで、それらの組織の構成員からの相談を組織の事務局から回されてくることも耳にして、「なんでも相談」は行政や団体を越えた広がりの中

で期待されている活動であることも良く理解できました。その広がりには毎月の相談センタ―だよりも表れています。
専門家も含めた相談員や運営スタッフの層の厚さ、女性スタッフの多さも驚きでした。
川崎ばかりでなく全県一と言われていることもひとつもだと思えます。
運営に携わっておられるみなさん、安倍政権の市民いじめの政治が押し進められる中、「困った時の駆け込み寺」としての、みなさんの活動にますます期待が寄せられ、広がってくることは間違いありません。どうぞこれからもプライドをもってがんばってください。また、私でお力になれることがあればいつでも声をかけてください。

などの施策をすすめます。
12月議会では、旧民主党系の「みんな」会派はよびこみ型の大型開発には一部反対しましたが、自民・公明は市長をおおるよう大型開発を推進しています。総額240億円の「東扇島埋め立て議案」には共産党10人のみが反対し、それ以外の全議員が賛成。市政のおもとを改められるのが共産党しかいないことが明らかになりました。
葵会による外国人富裕層専用の医療ツーリズム病院の開設(川崎区田町)、市長によるカジノ含むIR誘致の「検討」発言など、川崎区は激動のさなかにあります。この中で市民の暮らしを守る片柳すすむと後藤まさみさんへと、みなさんのご支援をお願いいたします。

スタッフ紹介



中島 木村貞江さん

一人暮らしで、後援会事務所のお手伝いをし、皆様にいろいろ教えてもらい社会勉強になっていきます。
11月初めに「くらしの相談センター」から当番の手伝いを頼まれました。何の知識もない私にできるか心配でしたが段々とやれそうな気になってきました。
今年78歳になりいつまでも元気でいられるように東京の五反田文化センターに月に2回コーラスの練習に通い、朝の6時半にラジオ体操に富士見公園へ毎日行き、中島商店街事務所月2回手芸教室に通い、楽しく過ごしています。



～天下第一～
中華料理 天龍
☆大小宴会も承ります☆
ホームページ <http://www.tenryu.gr.jp/>
川崎区東田町6-17 ☎ 246-1555

健康保険適用 【指定医療機関】 労災・生保・川崎市国保・老健・医療費助成・川崎市職員厚生会・京浜プラント工協同組合
鍼・灸・訪問マッサージ
●施術には各種健康保険が使えます。
費用/1割負担の方で、往診料込で1回約400円。身体障害1～2級の方や生活保護法の方の治療費はかかりません。詳しくはお電話で。
川崎中央より・きゅう院本院
電話 044(244)1985

困った時は、ご相談ください。
川崎医療生活協同組合
川崎協同病院
☆☆看護師大募集☆☆
川崎区桜本 2-1-5
tel 044-299-4781 fax 044-299-4788
<http://kawasaki-kyodo.hosp.jp>